

第 8 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 5 年 11 月 10 日 (金) 午前 10 時 30 分～午後 4 時 00 分
会 場	長岡アーカイブセンターきおくみらい (長岡市)
出席委員	菊地委員、前田委員、恩田委員、佐久間委員、清水委員、小熊委員、川島委員、小日向委員、佐藤 (哲) 委員
欠席委員	横山委員、佐藤委員
事務局 関係課	加藤建設課長補佐、地域総務課 (中川課長補佐、藤井主査、神田副主査、伊藤主査、伊藤副主査)
会 議 要 旨	<p>【視察、会議概要】</p> <p>①中越地震に関する動画を視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難をさせるために住民を納得させる必要がある、強制はできない (自治会長が決断し、避難させた) ・コミュニティのないところに復興はない <p>②展示の案内【赤塚 雅之氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震源地よりも、信濃川沿いの地盤の弱い土地の家屋全壊率が高く、70%を超える ・その他、段ボールベットや災害食などの紹介 ・基金を財源とした被災地をまわる補助制度あり <p>③研修 (+意見交換)</p> <p>【講師 地域防災力センター センター長 野村裕太氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマは「一般的な地域住民に知ってもらいたい防災情報、災害対策について」 ・時代とともに、災害対策は変化してきている。旧耐震基準の木造家屋などはつぶれるが、旧耐震基準以降の住宅は、いきなり倒壊ということはあまりない <p>◎水害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5段階の避難情報を一般の人が理解する必要がある。理解していれば、川や田んぼを見て災害に巻き込まれることなく、避難ができるようになる ・地震などと違い、大雨は予測できる災害なので、命を落とすことはもったいない ・そもそも、避難行動とは何か。避難所へ避難する？ 2階へあがる？ (立ち退き避難、在宅避難※2階以上へ垂直避難) ・安全な場所に身を置くことが避難行動 (避難所一択ではない) ・それぞれの家の状況で判断する (地理上のリスク、夜間であるなど) ・避難所に行くことが目的ではなく、安全を確保することが目的 ・北区は大規模な河川が多い、ぜひハザードマップを活用してほしい ・信用していない人も多いが、近年のマップは大変精度が高い ・台風 19 号 千曲川の氾濫でも、ハザードマップの浸水想定区域と浸水地域はおおむね一致している。5メートル以上浸水想定区域は、実際に2階以上の浸水となった ・自分の地域がどれくらい危険かハザードマップで確認し、避難行動を決めてほしい ・新潟県防災ナビ (アプリ) も有用である

◎地震について

- ・水害と地震の違いは、予測できるかできないか。地震は運次第。対策は自宅の中でしかできず、寝ているときの人生の1/3くらいしか対策できない
- ・寝て起きてとっさの対応はできないため、寝室の地震対策は重要。耐震補強や建替えは急にできないため、倒れてくる家具などを対策
- ・新潟市に近い断層は長岡平野西縁断層帯（新潟市で被害が大きい断層）、月岡断層（北区に近い断層）で、地震が起こると、約17万棟の倒壊被害のほか、7500名の死者、48万名の避難者が想定されている。新潟県のシミュレーションによると、適切な地震対策をすることで約85%被害を減らすことができる
- ・揺れている瞬間は何もできないが、事前に地震に備えて対策をすることはできる
- ・死ぬ確率を下げるのが大切、災害の瞬間生き抜くことが大事
- ・普段、考えることが楽な非常食、避難所など、災害を生き抜いた後のことばかり準備しがちであり、自分が死ぬかもしれないということ、は考えないようにしている
- ・日本全体で、30年以内に地震が起こる確率があると色付けされている地域は非常に多い。地震はおこるものだと思って対策が必要
- ・できること、やれることから、ちょっとずつ

④質疑応答を含む意見交換

（前田委員質問）

洪水シミュレーションの変動がよくわからない

⇒国土地理院など、シミュレーションは微妙に違い、定まらない理由がある

（佐久間委員）

有効な訓練は

⇒ハザードマップ上では、2階に逃げれば安全であるため、垂直避難を避難行動に選択し避難行動の訓練を行っている自治体もある

- ・玄関先に白い布を掲げ、安否確認する以外で有効な方法は

⇒ライン等で安否確認を実施する自治体もある。高齢で操作が難しい方もいると思うが、いずれ代が変わる。10年後に備えて始めることは悪いことではないと思う

・避難者カードなどを実際に使った訓練が有効ではないかと考えている、事例は⇒避難者の受付を避難者カードの記入にかえて実施しているところもある
どのような人が来たか把握できるメリットがある

（川島委員）

地震のとき都市ガスは勝手にとまるのか

⇒勝手にとまる。プロパンガスは自分で止めるしかない

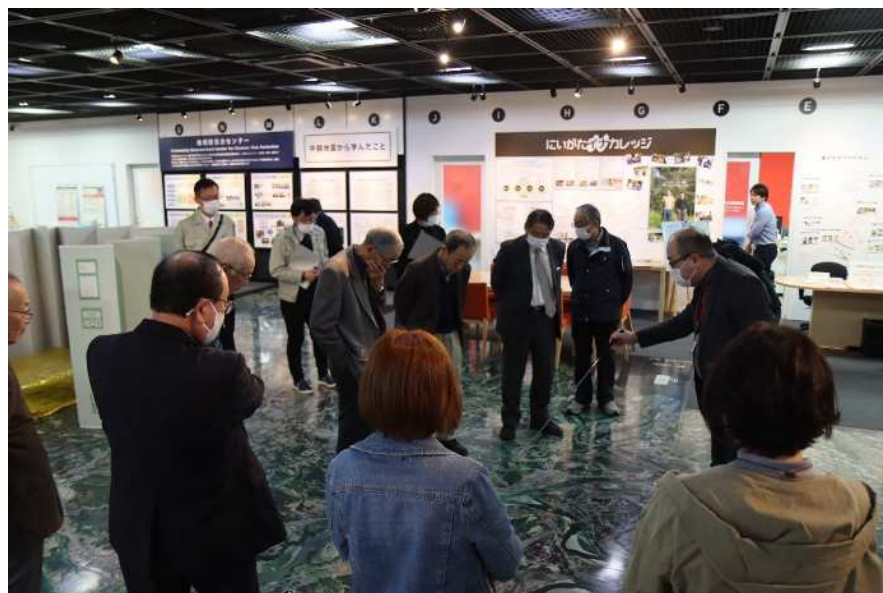
（小日向委員）

⇒感震ブレーカーの普及はまだまだである




【次回以降の予定】

- ・12月は1、2月のワークショップに向けてワークシートを作成予定

地域づくり部会 長岡アーカイブセンター きおくみらい(記録写真)



第 8 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 5 年 11 月 22 日 (水) 午後 3 時～午後 4 時 20 分
会場	新潟医療福祉大学
出席委員	清水部会長、遠藤副部会長、佐藤(康)委員、此村委員、有田(一)委員、佐藤(茂)委員、竹島委員、三浦委員、日下委員、佐藤(哲)委員 川島委員
欠席委員	なし
事務局	渡辺豊栄地区公民館長、近藤地域総務課長補佐、深沢 (地域総務課)
会議要旨	<p>(1) 新潟医療福祉大学との連携講座企画案について 新潟医療福祉大学より、講座案が 3 件寄せられた。事前に意見を聞いたがまとまらなかったなので、12 月の会議で再度議論する。</p> <p>(2)新潟医療福祉大学施設見学 社会連携推進課佐々木様から説明を受け、佐藤成登志委員から挨拶の後各施設見学 鍼灸センター・トレーニングセンター・MOMO カフェ・義肢装具自立支援学科制作室等・図書館 見学後、質問・意見交換を行った。 今後行う提案事業などに参考になった。</p> <p style="text-align: center;">義肢装具自立支援学科→</p> <p>鍼灸センター↓</p> <p style="text-align: center;">図書館↓</p>
	  

第 8 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 5 年 11 月 22 日（水曜） 午後 2 時 40 分～午後 3 時 55 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	伊藤委員、小日向委員、飛鳥井委員、野口委員、諏訪委員 寺山委員、坪木委員、小林委員、石山委員
欠席委員	有田委員
事務局 関係課	東理副区長、産業振興課（横木課長）、区民生活課（高野課長）、地域 総務課（佐藤）
会 議 要 旨	<p>1. 次年度事業について</p> <p>○浜料理 VS 潟料理 （意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜と潟の食材のとれる時期が合わないような気がする。また、会場をどうするか、フェスのように何店舗かがキッチンカーなどで料理をふるまうようなスタイルの方がやりやすいのではないか。（石山委員） <p>⇒今の案では今年度設置した地域の拠点を会場に報道を呼び、取材を通して情報発信してもらうことをメインに考えていた。一般の方も試食できればと思っているが、食材がどのくらい準備できるかにもよるので、協力者との相談が必要。（産業振興課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の方も食べられないと魅力発信につながらないのではないか。設定している会場は、駐車場は大丈夫なのか？また、単独のイベントで人を集めるのは難しいので、キテミテキタクなどの中に組み込むのはどうか。 <p>⇒会場に駐車場があるのと、葛塚コミュニティセンターが近くにあるのでその駐車場を利用してもらえる（小日向委員より）。</p> <p>○トークセッションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人選では、郷土博物館の学芸員に参加してもらうといいのではないか。北区の食をテーマに、北区の食の歴史を話してもらえる。また、スタンプラリーの巡る先に郷土博物館もいれてもらい、“食べる道具”展示そばにスタンプを設置してはどうか。 ・食材の提供者から食材の紹介などをしてもらうのはどうか。スクリーンをおいて、食材の紹介などを動画で流しておくのも気軽にみてもらえるのではないか。 <p>課題 開催時期（食材の取れる時期）、会場、集客するための方法</p> <p>○スタンプラリーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店で浜料理や潟料理を提供するというのは今の段階では難しい。何年後かにできればいいとは思っている（産業振興課）。 ・飲食店のスタンプラリーは商工会が毎年行っている。それを応援することとし、その他の施設や景勝地を巡るものにしてはどうか。 ・参加してもらいたい世代（ターゲット）を明確にしていかなないとどんな

ものにしたらいいか判断できない。

- ・イベントを実施する時期と重複する時期にスタンプラリーを実施し、イベント内で広報するなどしないと、盛り上がらないのではないかな。

- ・スタンプラリーを行うには、相手先に許可を得たり、スタンプ等の設置など実際行うにはかなりの労力がかかるが、本当にできるのか？とりあえず浜料理 VS 潟料理やトークセッションのイベントに集中してもいいのではないかな。

【次 回】

ビュー福島潟の展示室、ライブ映像について、レンジャーからガイドしてもらおう。本会議終了後各自で移動し、1時間程度で実施。